

川上ダム通信

2018
4
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

Vol. 151
Since 2005

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@iily.ocn.ne.jp>



平成30年度工事の予定

川上ダム建設所において平成30年度に実施を予定している主な工事は以下のとおりです。また、施工場所は図中の赤色の部分です。

■本体関係工事

- ①仮締切工：前深瀬川の流れを仮排水路に切替えるため、ダムの上下流に河川を締め切る堤を築造します。
- ②基礎掘削工：土砂を掘削し、ダム堤体の基礎となる堅硬な岩盤を露出します。
- ③工事用道路工：工事用車両、建設機械等が通行するための工事用道路を整備します。
- ④仮設備、骨材仮置きヤード整備工：コンクリート等を製造する仮設備を設置する場所及びコンクリートを作るために必要な石や砂を仮置きするための場所を造成します。
- ⑤取水放流設備工事、常用洪水吐き設備工事（仮称）：河川の水が多くない時に、ダムから水道用水や生物の生息環境維持等のために放流する取水放流設備及び洪水時に放流量を調節する常用洪水吐き設備を製作・据付する工事です。

■貯水池内関係工事

- ①その他の工事：ダム本体建設工事期間中の安全確保等のための斜面の落石対策やダム完成後に水を貯め、水位変動が生じても斜面を安定させるための工事及び工事用進入路の舗装の打換え工事を行います。

ダム本体建設工事が本格的に始まることに伴い、公道を走る工事車両も増えてきます。当建設所では、工事関係車両に対して交通安全のためのルールを徹底してまいりますので引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【工務課 小野周平】



川上ダム平成30年度工事予定区間

安全第一で工事を行います

当建設所では、工事現場の安全点検や受注者への指導等を目的として毎月1回、安全協議会を開催しています。2月22日（木）に開催した安全協議会では、伊賀労働基準監督署の森署長、堀川安全専門官をお招きし、署長から労働安全に関する講話をいただいたのち、合同で工事現場の安全パトロールを行いました。また、今回の安全協議会には木津川ダム総合管理所からも多数参加がありました。

労働安全に関する講話では、平成29年度上半期に建設業の労働災害が急増した際に緊急実施した死亡災害撲滅への取り組みや、長時間勤務による労働災害についてご説明をいただき、労働災害を減らすための様々な方策について学ぶと共に、安全パトロールでは高所からの墜落防止、斜面部からの転落防止等の安全対策について指導をいただきました。

今回、労働基準監督署の方々にご指導いただいたことで、安全協議会参加者の安全に対する意識向上を図ることができました。今後ダム本体工事が本格化していきますが、常に安全第一を念頭に事業を実施してまいります。

【工務課 藤岡 奨】



工事現場の安全パトロール



労働安全に関する講話

無事故竣工を祈願～JV安全祈願祭～

2月6日（火）に川上ダム本体建設工事の安全祈願祭が、施工者である大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体（以下「JV」という）主催のもと、大村神社にて執り行われました。安全祈願祭には、川上ダム建設所長をはじめとした当建設所職員と施工者であるJV及び協力会社の合計30名が出席し、無事故竣工を祈願しました。



大村神社

安全祈願祭に参加したことで、施工者であるJVと共に安全な現場作りを心掛け、無事故で竣工出来るよう日々努力していかねばならないと改めて決意しました。

川上ダム本体建設工事は4月上旬の転流を控え、本格的に工事が始まりますので、安全第一を目標に新年度からも引き続き邁進してまいります。

【工務課 河野将大】



安全祈願の様子



日々の備えが重要！ ～消防訓練・救命講習～



2月16日（金）、伊賀市消防本部南消防署の方々を講師にお招きして消防訓練と救急救命講習を実施しました。

消防訓練は、事務所内で火災が発生したという想定のもと火事の周知・初期消火活動の訓練を行い、引き続き消防署への訓練通報、避難場所への避難訓練を行いました。最後に、消火器の使い方や留意点を教えていただき、水消火器による消火訓練を体験しました。

消防訓練終了後は救急救命講習が行われました。

心臓マッサージを行う人、AEDを運んできて使用する人などに分かれて、ロールプレイ形式で実習を行いました。

心臓マッサージは予想以上にハードですので、他の人と交代するなどして「強く・速く・絶え間なく」続けることが大切といったアドバイスを受けました。私も体験しましたが、かなりハードでしたので、自分がそのような事態に遭遇した場合は周りの人達との協力が必要だと感じました。

今回の訓練・講習で学んだことを生かし、万が一の事態が発生したときにも冷静に行動できるよう心がけるとともに、防災意識の向上に努めてまいります。

【総務課 関澤佳晃】



心臓マッサージとAEDの準備
まわりの人との連携が重要です。

忍術を学ぶ！～忍者・忍術学講座～

三重大学主催の「忍者・忍術学講座」が、3月10日（土）にハイトピア伊賀で開催されました。この伊賀らしくまた興味をそそる講座は、平成24年から毎月1回開催されています。この講座は、専門的な内容が多くあるにも関わらず、一般の方にもわかりやすい内容になっておりしかも無料です。今回も会場一杯の歴史好きが集まり（何故か忍者のコスプレの人も若干名参加）会場は盛り上がっていました。

今回の講座は、「伝承の忍術道具と用法」、講師は甲賀^{こうか}しのびの^{しのびの}でん^{でん}忍之伝宗師家であり三重大学特任教授の川上仁一^{かわかみじんいち}氏を迎えて行われました。



講座の様子



川上特任教授による手裏剣の説明

川上特任教授は、ラストニンジャといえる人物であり、今回の講座では、忍者が実際に使っていた、又は実際に使用されていないが後世に忍術道具として誤認された忍術道具を実物と特任教授所有の忍術書を用いて、使い方、忍術道具のウソホントを数多く紹介していただきました。物珍しさのため筆者を含め周りも写真を撮る人が多数いました。

この伊賀を代表する講座は、来年度も継続して行われるようです。興味がある方は参加されては如何でしょうか。

【機械課 佐々木浩司】

初瀬街道まつりに行って来ました！

3月4日（日）に初瀬街道阿保宿周辺で開催された「初瀬街道まつり」に行って来ました。このまつりは、阿保地区住民自治協議会が主催するもので、今年で13回目となります。春の陽気に誘われ、大勢の人々で賑わっていました。

阿保宿は、江戸時代に関西方面から伊勢神宮へ参拝する人々の宿場町として賑わった地区で、この日は、一帯を歩行者天国にして様々な催しがありました。和太鼓や吹奏楽の演奏、獅子神楽、餅まきなどを行っており、1853年創業の造り酒屋では、甘酒や粕汁が振る舞われ、お酒の試飲も行っていました。また、街道沿いの民家では通りに面して大きな雛人形を飾り、おまつりを盛り上げていました。

こんにゃくの販売など地元特産品の模擬店も多数出店していて、筆者は椎茸フライの巻き寿司をいただきました。おいしかったので、来年も是非よろしくお願ひします。

初めてこのまつりに参加した筆者は、住民総出でおもてなしをされている姿を目にして、阿保地区住民自治協議会の皆様を始め、地元の皆様の阿保宿への深い愛情を感じました。このおまつりが、さらに盛大に長く引き継がれることを願っています。

【総務課 大西 誉朗】



お酒の試飲会場



賑わう初瀬街道

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課

TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

伊賀上野 NINJA フェスタ 2018

開催日時 4月7日（土）～5月6日（日）
開催場所 伊賀市街地と上野公園
お問い合わせ NINJA フェスタ実行委員会事務局
TEL: 0595-22-9670

敢国神社 獅子神楽（舞上祭）

開催時期 4月17日（火）
開催場所 伊賀市一之宮877
お問い合わせ 敢国神社
TEL: 0595-23-3061

編集後記

今冬、日本列島は記録的な大雪を記録し、三重県でも毎週のように雪、また雪…。今年度から三重県在住となった筆者（四国出身）には三重の冬は寒い！と身を震わして実感しました（皆さんに何うと今年が特別のようですが）。しかし、寒い季節は終わりを告げもうすぐ春が来ます。

新年度が始まりますが、川上ダム通信は平成30年度も皆様へ川上ダム及び地域情報をお伝えしてまいりますので引き続きご愛読よろしくお願い致します。

【広報誌発行事務局】

編集長 北牧（所長）
デスク 大西（総務課長） 小谷口（工務課長）
記者 関澤（総務課） 桐山（第二用地課）
赤尾（調査設計課） 藤岡（工務課）
河野（工事課） 佐々木（機械課）